

## 第3次スポーツ推進計画 策定スケジュール（案）

年度	月日	内容
R3	3月18日	◆スポーツ推進審議会①【現行計画の振り返り、5年後の目指す姿の審議】
R4	4月～6月	【施策展開の方向性案の作成】 ・審議会①での議論を踏まえ、施策展開の方向性案を検討
	6月13日	◆スポーツ推進審議会②【施策展開の方向性（スポーツの力・価値）の議論】
	6月～8月	【施策展開案・数値目標案の作成】 ・審議会②での議論を踏まえ、施策展開案、数値目標案を検討（関係各課へ照会）
	8月	◆スポーツ推進審議会③【施策展開・数値目標の議論】
	8月～10月	【計画原案の作成】 ・審議会③での議論を踏まえ、計画原案を作成する
	10月	◆スポーツ推進審議会④【計画原案の審議】
	11月	【計画原案の修正】 ・審議会④での議論を踏まえて、計画原案を修正
	11月～	【教育委員会定例会】 ・計画原案の提出
	12月～1月	【計画案に対するパブリックコメントの実施】 ・原則30日以上
	2月～3月	【教育委員会定例会、部局長会議】 ・計画決定

## 第3次長野県スポーツ推進計画の策定に向けた検討について

### 1 前回の審議会（令和3年3月18日開催）

- ・ 「5年後の目指す姿」の再設定
- ※ 第2次計画が「10年後の目指す姿を見据えた前半5年間の計画」であるため、第3次計画は「後半5年間の計画」として策定する。

### 2 今回の審議会

★本日のテーマ：「スポーツの力・価値とは何かの再確認」

（理由）

- ・ 「スポーツの力で切り拓く長野県の未来」（現行計画の副題、基本理念。次期計画も継続）
- ・ 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁 令和4年3月策定）  
『「スポーツの価値」について各主体間で共通認識を持つことが不可欠である。』



- 長野県における「スポーツの力・価値」とは何かを再確認することは、計画の基本理念の実現に不可欠であり、国の計画の考え方とも合致する。
- 今回の審議会では「スポーツの力・価値とは何か」を中心にご議論いただき、「スポーツの力・価値」を活かした施策の展開が盛り込まれた次期計画の策定作業を進めていく。

（参考）

- ・ 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）では「スポーツの価値」を以下の2つに分類している。

① スポーツそのものが有する価値

「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的なもの（well-being）

② スポーツが社会活性化等に寄与する価値

スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進等

- 第3期スポーツ基本計画の2つの分類を参考に、第3次長野県スポーツ推進計画で捉える「スポーツの力・価値」について検討を行う。  
今回は主に以下の視点でご意見等をいただきたい。
  - ・ **スポーツにはどんな力・価値があるか**
  - ・ **スポーツの力・価値が県民に普及されていくためにはどんな施策が必要か**
- 今回の審議会で頂いたご意見等を踏まえて、今後、関係部局を交え、施策案の詳細を事務局で検討予定。今回は、施策案の詳細を詰める前段階のアイデア出しというイメージで幅広くご意見をいただきたい。

○主な課題（前回の審議会資料より抜粋）

<p><b>基本目標1 子どもの運動・スポーツ機会の充実</b></p>	<p><b>基本目標2 生涯を通じたスポーツ機会の充実</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 体力合計点の低下</li> <li>✓ 運動をする子どもとしない子どもの二極化</li> <li>✓ 運動が好きな子どもの割合の低下</li> <li>✓ 運動部活動（少子化による存続危機、教員の負担増等、公立中学校の休日の部活動の段階的な地域移行）</li> <li>✓ 子どもの地域スポーツ環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スポーツ参画人口の拡大</li> <li>✓ コロナ禍におけるスポーツ活動の維持（先端技術の活用等）</li> <li>✓ 県有スポーツ施設の老朽化・旧仕様化</li> <li>✓ 地域スポーツクラブの活性化（加入率の低下等）</li> </ul>
<p><b>基本目標3 全国や世界で活躍する選手の育成</b></p>	<p><b>基本目標4 スポーツの持つ力の多面的活用</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新型コロナウイルス等感染症下での競技力向上対策（デジタル技術の活用等）</li> <li>✓ 指導者の活動支援や指導環境の整備</li> <li>✓ ジュニア選手の発掘、育成事業の推進</li> <li>✓ 誰もが専門的な医科学サポートを受けられる環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 感染症等の制限下におけるスポーツを活用した地域振興</li> <li>✓ フレイル予防や地域コミュニティの弱体化等、様々な社会問題へのスポーツの多面的活用</li> <li>✓ 県内プロスポーツチームとの連携強化</li> </ul>

**基本目標1 子どもの運動・スポーツ機会の充実**

- ・ 長野県版運動プログラムが普及し、体を使った遊びが好きな子どもが増え、屋内外で運動をする元気な子どもたちが増加している。
- ・ 幼児期からの運動遊びに関する理解が広がり、県内各地で活発な取組が行われている。
- ・ 運動が好きな子どもたちが増え、休み時間や放課後に体育館や校庭などで遊ぶ子どもたちが増えている。
- ・ 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」に基づいて中学校の運動部活動が適切に行われ、より豊かな学校生活を送ることができている。
- ・ 少子化の進行に伴い、学校単位での運動部活動の成立が困難な学校においても、学校間や市町村間、または地域のスポーツクラブ等との連携により、スポーツ活動機会が確保され、その団体での各種大会への参加も可能となっている。
- ・ 国際大会や全国大会を目指す子どもたちの練習環境が整い、それぞれの目標に向けてひたむきに取り組む子どもが増えている。
- ・ 障がいのある子どもたちが、個々の障がいに応じた適切な運動指導が受けられ、障がいの有無にかかわらず一緒に運動遊びを楽しんでいる。
- ・ 効果的なICT活用によって、それぞれのニーズに応じて、データベース上の資料や動画をいつでも確認できる等、運動の技能差にかかわらずに体育授業の充実が実現されている
- ・ 地域のスポーツ活動やスポーツ少年団の活動に積極的に参加するなど、自ら様々なスポーツに挑戦し、スポーツを楽しむ能力・習慣が身についている。
- ・ 子どもたちが仲間同士で、安全に自然体験活動ができる場所やスポーツ施設が身近にあり、屋内外で体を動かして楽しく遊ぶことができる環境が整っている。
- ・ 親子で参加できるスポーツイベントなど、親子で楽しめる運動遊びの機会が充実し、スポーツを通じて親子の絆(きずな)が深まっている。
- ・ プロスポーツ大会、全国大会、世界大会等の様々なスポーツ大会が県内各地で開催され、応援や試合観戦など、スポーツをみて楽しんでいる子どもが増えている。
- ・ 障がい者スポーツの体験会や障がい者アスリートとの交流会などが積極的に開催されている。

**基本目標2 生涯を通じたスポーツ機会の充実**

- ・ 多くの県民が余暇時間を有効に使い、適性や目的等に応じて、家族や仲間とスポーツ活動を楽しんだり、スポーツイベントを観戦するなど、充実したスポーツライフを送っている。
- ・ デジタル技術を活用したスポーツの場の提供により、時間・場所を気にすることなく、日々の生活の中にスポーツが取り入れられている。
- ・ プロスポーツチームの試合や各種スポーツ大会の観戦・応援などスポーツをみて楽しむ人が増加している。
- ・ スポーツボランティアとして地域のスポーツ活動を盛り上げるなど、スポーツを「ささえる」人が増加している。
- ・ 障がい者の社会参加の推進と社会の障がい理解が促進され、障がいの有無に関わらず、スポーツを通じた交流が拡大されている。
- ・ 大規模改修時期を迎えた県有スポーツ施設が適切に改修され、誰もが利用しやすいスポーツ施設として整備されている。
- ・ スポーツ推進委員がコーディネーター役となり、それぞれの地域で、個々の目的や適正等に応じたスポーツ活動が活発に行われている。
- ・ 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、社会体育団体やその他のスポーツクラブ等が、それぞれの地域で充実した活動を展開している。
- ・ 「長野県スポーツ医科学ネットワーク」を活用し、アスリートだけでなく、地域住民も健康状態に応じて安全かつ効果的な運動・スポーツプログラムが日常生活に取り入れられている。
- ・ 障がいの種類、程度、適性や目的等に応じて楽しめるスポーツが普及し、それぞれに応じたスポーツを楽しんでいる。

**基本目標3 全国や世界で活躍する選手の育成**

- ・ オリンピックやパラリンピックなど、国際舞台や全国大会で活躍する本県選手が増加している。
- ・ 2028信州やまなみ国スポでの天皇杯・皇后杯の獲得を目指し、本県の競技力が向上している。
- ・ スポーツに親しむすべての県民が県内のどこでも医科学サポートを受けられ、トップアスリートは最先端の科学的な強化指導が受けられるなど、選手の練習環境や支援体制が整備されている。
- ・ ジュニア選手の発掘育成や異種競技へのトランスファーなど、選手の持つ可能性を最大限に引き出す環境が整備されている。
- ・ 拠点を中心とした発掘・育成体制が整備され、競技人口の安定確保とともに、ジュニアアスリートの全国大会出場数が増加している。
- ・ すべての競技団体が、マルチサポート事業を活用し、競技者が良いコンディションで競技活動をしている。
- ・ SWANプロジェクト修了生がオリンピックに出場し、メダルを獲得している。
- ・ 優秀な多くの指導者が遺憾なく力を発揮できる強化指導体制・環境が構築されている。
- ・ 長野県で選手が育ち、その選手が指導者となって次世代の選手を育成するなど、本県のスポーツ振興を支える好循環が形成されている。
- ・ 高校・大学卒業後も地域や企業に支えられながら、競技と仕事をバランスよく両立できる環境が整っている。
- ・ 本県を代表するアスリートが、交流イベントやスポーツ教室などで県民と交流し、スポーツの魅力を発信している。

**基本目標4 スポーツの持つ力の多面的活用**

- ・ 長野県スポーツコミッションが核となり、全国大会・世界大会等の様々なスポーツ大会が県内各地で開催され、スポーツを通じた誘客による地域経済の活性化が図られている。
- ・ 山岳スポーツやウィンタースポーツなどの長野県ならではの魅力あふれるスポーツを楽しむために日本全国・世界各地との交流が活発に行われている。
- ・ フレイル予防や地域コミュニティの弱体化等、様々な社会問題へスポーツの力が多面的活用され、課題解決に寄与している。
- ・ プロスポーツと連携・協働した事業が盛んに行われ、地域振興につながっている。

① **スポーツの力・価値** は他に何があるか ② **スポーツの力・価値** はどの基本目標に当てはまるか ③ **スポーツの力・価値** が県民に普及されるための施策のアイデア

※複数の基本目標に当てはまる可能性あり

**基本目標1 子どもの運動・スポーツ機会の充実**  
 (現行計画の主な施策の展開)

- ・ 幼児期からの運動の習慣化
- ・ 長野県版運動プログラムの普及
- ・ 体育・保健体育授業の支援
- ・ 適正で効果的な運動部活動の推進
- ・ 子どものスポーツ環境の充実
- ・ 障害のある子どもの運動機会の充実と障がい者スポーツに対する理解の促進 等

体力向上  
心身の健全な発達

**基本目標2 生涯を通じたスポーツ機会の充実**

- ・ 「する」「みる」「ささえる」スポーツの普及
- ・ 青壮年期・高齢期のスポーツ活動の促進
- ・ スポーツ推進委員の活動支援
- ・ 地域スポーツクラブの育成と安定運営に向けての支援
- ・ 地域スポーツ指導者の養成
- ・ スポーツを通じた共生社会づくり 等

Well-being  
健康増進

○スポーツそのものが有する力・価値

体力向上	心身の健全な発達	他者の尊重 協働する精神
楽しさ・喜び	Well-being	健康増進
一体感	感動	夢・憧れ

etc.

スポーツの力・価値を活かした施策展開を検討

**スポーツの力・価値**

施策通してスポーツの力・価値を県民へ普及させる

○スポーツが社会活性化等に寄与する力・価値

地域活性化	共生社会
健康長寿社会	交流促進
魅力発信	異分野との連携

etc.

**基本目標3 全国や世界で活躍する選手の育成**

- ・ 2028年国スポに向けた競技力向上対策
- ・ 冬季競技の強化
- ・ ジュニア選手の発掘・育成の推進
- ・ 大学や企業との連携
- ・ マルチサポートの推進
- ・ 県内を拠点とした競技活動の支援
- ・ アスリートとの交流による県民スポーツ参加意欲の高揚 等

感動  
夢・憧れ

**基本目標4 スポーツの持つ力の多面的活用**

- ・ 国際大会の事前合宿誘致を通じた地域の活性化
- ・ 国スポ・全障スポを通じた地域の活性化
- ・ 信州ならではのスポーツの魅力発信
- ・ プロスポーツとの連携事業の推進 等

地域活性化  
魅力発信



基本目標	中項目	施策の展開（現行計画）	次期計画で取り入れる視点（例）
① 子どもの運動・スポーツ機会の充実	(1) 幼児期からの運動の習慣化	・ 幼児期からの運動の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動の段階的な地域移行に向けた取組</li> <li>・ ICTの活用等体育授業のさらなる充実</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催機運の活用</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催後を見据えた取組</li> </ul>
		・ 長野県版運動プログラムの普及	
		・ 指導者研修の充実	
	(2) 学校体育・運動部活動等の充実	・ 先進好事例の市町村への普及定着支援	
		・ 体育・保健体育授業の支援	
		・ 学校における体力向上に向けた取組の促進	
		・ 適正で効果的な運動部活動の推進	
		・ 学校体育・スポーツ活動の安全性の確保	
		・ 教員研修の充実	
(3) 子どもを取り巻く地域スポーツ環境の整備	・ 障がいのある児童生徒に対する支援		
	・ 子どもスポーツ環境の充実		
	・ 魅力ある自然体験学習を安全に実施するための研修の充実		
	・ 親子参加型スポーツ体験の充実		
② 生涯を通じたスポーツ機会の充実	(1) ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進	・ 障がいのある子どもの運動機会の充実と障がい者スポーツに対する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先端技術を活用したスポーツ機会の充実</li> <li>・ 長野県スポーツ医科学ネットワークの活用</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催機運の活用</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催後を見据えた取組</li> </ul>
		・ ライフスタイルに応じた「するスポーツ」の普及	
		・ 青壮年期のスポーツ活動の促進	
		・ 高齢期のスポーツ活動の促進	
		・ 「みるスポーツ」の普及	
		・ 「ささえるスポーツ」の普及	
	(2) 地域のスポーツ環境の整備	・ 長野県の特徴を活かしたスポーツの推進	
		・ 障がい者のスポーツ参加機会の拡大と理解促進	
		・ スポーツ推進委員の活動支援	
		・ 総合型地域スポーツクラブの育成と安定運営に向けての支援	
		・ 地域スポーツ拠点のマルチ化	
		・ 地域スポーツ指導者の養成	
		・ スポーツにおける安全の確保	
		・ スポーツイベントの充実	
		・ スポーツ施設の充実・維持管理	
		・ 県立武道館を核とした武道振興	
		・ 地域における障がい者スポーツ環境の整備	
		・ スポーツを通じた共生の社会づくり	
③ 全国や世界で活躍する選手の育成	(1) 選手の育成強化・指導者養成による競技力向上	・ 2028年の国体に向けた競技力向上対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル技術を活用した競技力向上対策</li> <li>・ 長野県スポーツ医科学ネットワークの活用</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポに向けた充実期、躍進期の取組</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催後を見据えた競技力向上対策</li> </ul>
		・ 指導者の養成と確保	
		・ ジュニア選手の発掘・育成の推進	
		・ 女性アスリートの支援	
		・ 一貫指導体制の充実	
		・ マルチサポートの推進	
		・ 冬季競技の強化	
		・ 異種競技間交流・合同トレーニングの推進	
	(2) スポーツ界の好循環の創出	・ トップアスリートとの交流による競技意欲の喚起	
		・ 県立武道館を核とした武道強化	
④ スポーツの多面的活用	(1) スポーツツーリズムの推進による地域経済の活性化	・ 大学や企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症等の制限下でのスポーツの多面的活用（県内住民向け健康増進・地域コミュニティ強化施策等）</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催機運の活用</li> <li>・ 2028信州やまなみ国スポ開催後を見据えた取組</li> </ul>
		・ 障がい者アスリートの養成	
	(2) スポーツを通じた人々の交流促進	・ 県内を拠点とした競技活動の支援	
		・ アスリートとの交流による県民スポーツ参加意欲の高揚	
		・ 国際大会の事前合宿誘致を通じた地域経済の活性化	
		・ 国際大会の開催を通じた人々の交流	
(3) プロスポーツとの連携・協働の推進	・ オリンピック・パラリンピック開催を契機とした韓国・中国との交流		
	・ 信州ならではのスポーツの魅力発信		
	・ ホストタウン事業の推進		
		・ 国体、全国障がい者スポーツ大会を通じた地域の活性化	
		・ プロスポーツとの連携事業の推進	